

11/16・17 市民ミュージカル
「あした来い来い恋 (古井) の池」



しこちゅ〜ホールで上演され、都会から出向してきた国家公務員を通じて、ホールの建設地となった「古井池」の伝説や、建設に関わる人の思いを演じました。約4か月間もの練習を重ねた出演者たちの熱のこもった演技や歌と踊りに大きな拍手が送られました。

11/16・17 第15回四国中央市産業祭&
 第22回JAうまグリーンフェスタ



伊予三島運動公園体育館とJAうまジャジャうま広場で開催され、各種バザー、フリーマーケット、あさりのつかみどり、農作物のせり市などのほか、四国最大級の大鍋で調理した、いもたきの販売もあり、秋晴れの空の下、多くの家族連れなどでにぎわいました。

11/17 えひめさんさん物語
～山の物語～「四国中央スカイラン」



新宮町の霧の森から塩塚峰までの登山道を駆け上がるスカイランニングが開催されました。今回の大会は四国初の公式戦「スカイランニング西日本選手権（パーティカル部門）」として開催され、全国各地から中学生を含む100名を超える選手が参加しました。

11/22 えひめさんさん物語
～紙の物語～「紙のサーカス」



しこちゅ〜ホールで上演され、第1部公演では、本市の主要産業である紙を使った、遊んで学ぶ観客参加型パフォーマンスを楽しみ、第2部公演では、コスチュームアーティスト、ひびのこずえさんの不思議な衣装をまとった幻想的なパフォーマンスに酔いしれました。

11/23 夢彩祭 (ゆめいろフェス)



伊予三島商店街で開催され、会場には紙製品を使ったオブジェや装飾品が並び、こだわりの飲食店やハンドメイド雑貨など約60店が軒を連ねたほか、ダンス、ミニライブ、仮装コンテストなどの催しもあり、終始盛り上がりを見せていました。

11/23 水引でクリスマスの飾りをつくろう



県紙産業技術センターで開催され、参加した30人の家族連れらは、星のオーナメントや、リース、ストラップ、バルなどを楽しく制作しました。なお、この教室は「学び舎えひめ悠々大学」（県生涯学習センターの事業）の単位を取得できる対象講座にもなっています。



まちの話題をお届けします!

しこちゅ〜通信



11/24

東予東部圏域振興イベント 「えひめさんさん物語」が閉会しました



閉会イベントがしこちゅ〜ホールで開催され、三島高校・川之江高校書道部合同チームによる書道パフォーマンスに続いて、これまでの成果発表やパネルディスカッションが行われ、中村県知事と3市の市長が今後も東予の魅力を発信し続けていくことを宣言しました。

11/25

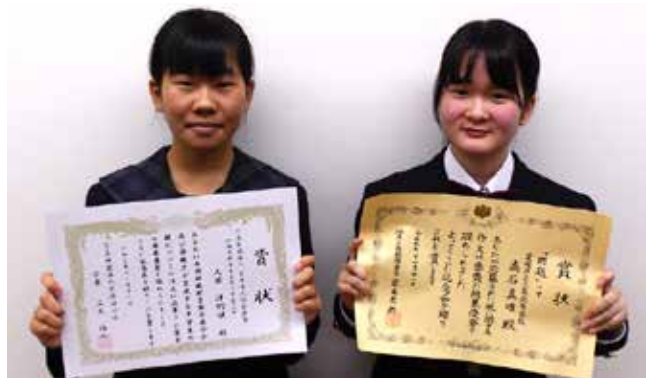
全日本美容技術選手権大会で 日本大賞を受賞



合田麻弥さん（土居町中村）が全日本美容技術選手権大会の7部門のうち、花嫁化粧着付競技（上品で格調高く花嫁らしい作品を競う競技）で250点満点を獲得し、日本大賞（最優秀賞）に輝いたことを市長に報告しました。

11/25

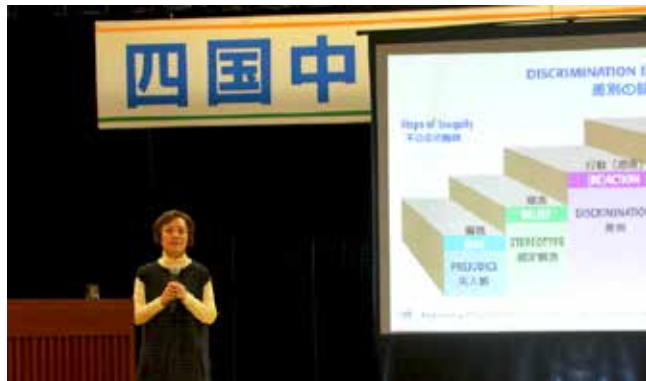
「税に関する作文」優秀作品を朗読



今年の優秀作品に選ばれた2人が、しこちゅ〜ホールで開催された公益社団法人宇摩法人会のチャリティ講演会で作文を朗読しました。○伊予三島税務署長賞 高石真唯さん（三島高校1年・写真右）○宇摩法人会会長賞 久保津羽咲さん（土居中学校3年・写真左）

11/24

2019 四国中央市人権のつどい



福祉会館で開催され、近畿大学人権問題研究所の熊本理抄さんが「部落問題から自己・他者・社会について考える」と題して講演したほか、県小学生人権メッセージコンテスト、全国中学生人権作文コンテストの入賞者がメッセージや作文を発表しました。

11/25

川之江町出身の藤井勝典さんが 学校図書を送る



川之江町出身の藤井勝典さん（株式会社CDG代表取締役会長）が、川之江地域の小学校に学校図書1,148冊を送り、市長から感謝状が贈呈されました。これは、地元子どもたちのより良い成長に貢献しようと始めたもので、今回で3度目の寄贈となります。

11/26

キックボクシング（スーパーバンタム級） のチャンピオンに輝きました



井上道場所所属の佐々木和斗さん（金生町山田井）が、10/14に東京都の後楽園ホールで開催されたキックボクシングの大会「Join Forces REIWA スーパーバンタム級王座決定戦」を制し、見事チャンピオンに輝いたことを市長に報告しました。



11/27 防犯功労者金章・銀章を受章



防犯功労者金章を受章した石川勉さん（四国中央地区防犯協会副会長）と防犯功労銀章を受章した中川晴太さん（同協会三島支部三島地区長）が、上記功労章を受章したことを市長に報告しました。これは、地域社会の安全への多大な貢献が評価されたものです。

11/27 こども音楽コンクール西日本大会に出場



松柏小学校の金管バンド部が10月に松山市で開催されたRNB こども音楽コンクール「管楽合奏部門」で県代表に選出され、12月に大阪府池田市で開催される「令和元年度こども音楽コンクール西日本優秀校発表音楽会」に出場することを市長に報告しました。

11/29 「四国中央市暮らしの便利帳」完成 年内に全世帯に配布



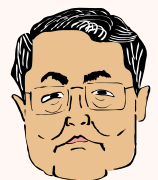
市と株式会社サイネックスとが共同で発行する「四国中央市暮らしの便利帳」が完成し、同社から市長に手渡されました。これは、市内事業者約200社からの広告料により作成されたもので、行政情報や観光情報が掲載されており、年内に市内全世帯に配布されます。

12/1 第16回四国中央市駅伝競走大会



川之江町の浜公園周辺で行われ、7部門に103チームが参加し、沿道からの熱い声援を受けながら次の走者に懸命にたすきをつなぎました。なお、男子はThe GO-DA ekiden project、女子は川之江北中女子駅伝部Aが総合優勝に輝きました。

市長の
ひとりのこと



四国中央市長
篠原 実

あけましておめでと〜ございませす

年の終わりには、喪中につきという挨拶状がやってくる。それはそれであたりまえのことなのだが、もらった方は、親しければ親しいほど、一枚のはがきから、胸中をかきむしるような感傷が駆け巡る。もう少しすれば新年だとなる。確実に自分もまた年齢を重ねていく。人間もその自然の一員であり、一ページをめくる主人公になっている。震えがとまらないような悲しみもあれば、涙が出てきて、叫んでしまいたくなるような面白いこともある。心の容量は計り知れない。自分の心だけでも、すごいページの小説になる。でも、なかなか他人にはわからない。だから我慢もできるし、辛抱もできる。できないときには、まあそんなもんだなと流すしかない。その、流すことができるかできないかが修行の年季なんだ。最後は、わかったような顔をして知らんぷりしている。自分の奥深くに潜んでいる我執に触れられないようにね・・・

年末年始、風邪などひかぬよう、みんな気をつけましょうね！

